

県内総合

建設情報 *Iwate*

協議会で最終案を取りまとめ

県公会堂 保存活用 大ホールの多目的化など

県文化スポーツ部文化振興課は28日、県公会堂保存活用に関する協議会(会長・熱海淑子県文化スポーツ部副部長)による26年度第1回協議会を盛岡市の県公会堂で開催した。協議会では、保全計画の最終案の概要や26年度実施事業について説明し、意見交換を行ったのち、最終案を取りまとめた。今後は諸手続きを経た後、計画の公開を行う。

保存活用計画は、文化財保護法に基づき、文化財の個別の状況に応じて保存・活用の考え方や所有者等において取り組む具体的な内容を位置付けた、文化財の保存・活用を進める指針となるもの。

当該計画は27年に竣工100年を迎える県公会堂について、次の100

年の建物の保存・活用に向けて、保存状態や管理状態などの現状と課題、今後の方向性を整理するものとして位置付けている。計画期間は5年間を見込んでいる。

最終案の構成を見ると、▽計画の概要▽保存管理計画▽環境保全計画▽防災計画▽活用計画▽関係法令一の6部構成となっている。

活用計画を見ると、県民の興味関心の向上を図り、さらに幅広い利活用の実現に向けて今後の活用方針を整理するとともに、必要と見込まれる施設・設備整備の方向性を整理するものとしている。施設・設備整備の方向性としては、大ホールは「多目的ホール化に向けて座席撤去・床フラット化を図る」「冷房がないことから、空調

ニュースのお知らせ

〒020-0015 盛岡市本町通3-9-33

本社編集部へ

TEL (019) 623-8201

FAX (019) 623-8204

・換気設備を設置する」としており、その他の諸室は「文化財的価値向上を含む改修を見据えた検討を継続する」「利用者の利便性の向上に向けて、諸室の設備整備を進める」としている。

協議会は学識経験者2人、県内建築業界の有識者2人などで構成され、「文化財保護法に基づく保存活用計画の策定等に関する指針」に基づく項目と整合性を図りながら、建物の部位ごとに保存活用の



県公会堂保存活用に関する協議会

方向性を明確化していく。

あいさつに立った熱海会長は、「昨年度の協議も踏まえて計画は策定段階に入ってきている。現地調査やパブリックコメントの結果などを踏まえて、ご検討をいただきたい」と述べ、活発な議論を呼び掛けた。

協議会では、計画の概要などについて説明が行われたほか、意見交換では「計画を進めていくに当たり、実際に読んで活用する人が検索しやすい見出しを付けることが望ましいのでは」「耐震性の確保についてはさまざまな方法を検討するとよいのでは」といった意見が上がり、県側が回答を行った。

県公会堂は、1923年に当時の皇太子(後の昭和天皇)御成婚記念事業として、建設が計画された。1927年に竣工した施設で、2027年に竣工100年を迎える。06年には、国の登録有形文化財にも登録された。

既存施設の概要を見ると、内

部には諸室として14室、特別室、応接室、大ホール、ギャラリーなどがある。構造は鉄筋コンクリート建てスクラッチタイル張り(本体2階、塔屋4階、地下1階)。敷地面積は3857.34平方㍍、建築延べ面積は5389.25平方㍍となっている。

今後のスケジュールとしては、取りまとめを行った最終案を県議会に報告し、文化省への提出を行う。所定の手続きを経たのち、今年度中の計画の公開を目指していく。協議会については解体を行わず、今後別途県公会堂に係る協議を行う際に参集する。

30年での完了を目指す

＝葛巻町・下町田子線＝

26年度はビルド遠藤で

葛巻町は町道下町田子線の改良工事について、26年度からおおむね30年での完了を目指している。26年度分の「町道下町田子線整備工事」はビルド遠藤が1億1330万円で落札した。

下町田子線は同町の中心部、国民健康保険葛巻病院から役場庁舎前を通り町道茶屋場田子線に接続するルート。全体計画延長は360㍍で、水路と併せて役場庁舎周辺

の道路整備を行い、庁舎の駐車場側に道路を寄せる。幅員は現状の7㍍から変更はないが、一部歩行帯を設ける計画となっている。

26年度分の道路改良工事についてはビルド遠藤が落札した。この工事は役場線との交差点付近から西側を中心とする延長140.4㍍の道路改良と、同線と平行に通る準用河川田ノ沢川の改修130.4㍍を併せて実施するもので、道路改良と河川改修により歩道エリアの確保を図る。

町では2022年度に複合庁舎である「くすま〜る」が開庁。町役場、商工会館、金融機関、病院などを集約したことで町民の利便性が向上し、役場周辺の交通量が増加している。

隣には盛岡中央消防署葛巻分署があり、消防車両の出入り口にも当たっているため、水路と併せて道路整備を行うことで庁舎や病院などの施設利用者のさらなる利便性の向上と、消防車両のスムーズな出入りを図る。27年度は役場線より東の病院側、28年度は茶屋場田子線との交差点側の改良を行い、おおむね30年での工事完了を目指す。

出版物のお問い合わせは
☎019-623-8201 営業局まで

いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える



降灰と火山被害

岩手大学名誉教授・岩手大学地域防災研究センター客員教授 越谷 信

岩手山では、2024年10月2日に噴火警戒レベルが2(火口周辺規制)に引き上げられた。これに伴い、岩手山の入山が規制され、関係機関により火山活動の推移が注意深く検討されてきた。その後、火山活動の鈍化により、2026年7月1日から東側4登山道の入山規制が解除され、同年8月27日には噴火警戒レベルが1(活火山であることに留意)に引き下げられた。これにより、西岩手山の大地獄谷付近の推定火口周辺を除いて、西側の登山道の規制も安全確認後に解除されることになっている。

岩手山は、火山学的には、東西約13kmに複数の火山が配列した火山群であり、形成時期が比較的新しく火山群の東半分を占める狭義の岩手火山(姥倉山から東側の火山体)とよび、これはさらにほぼ東経141度の線を境に東西に区分され、西岩手(火)山、東岩手(火)山といわれている。約7000年前以降、東岩手山では、マグマ噴火と(マグマ)水蒸気噴火、西岩手山では水蒸気噴火のみが発生していることから、岩手山火山防災マップは、東岩手山では1686年のマグマ噴火を主体とする噴火、西岩手山では約3200年前の水蒸気噴火と同程度の噴火が発生したとして、作成されて

いる。このことをうけて、東岩手山が噴火した場合、東岩手山では、噴石、降下火山灰、溶岩流、火砕流、火砕サージ、土石流、融雪型火山泥流と多種の火山現象が想定されているのに対し、西岩手山では、噴石、降下火山灰、土石流が想定されている。

2024年の噴火経過レベルが2に引き上げられたときには、大地獄谷を中心とする西岩手山の想定火口からの水蒸気噴火が強く懸念され、西側想定火口から2kmの範囲に噴石が飛来する可能性が指摘された。これと合わせて、防災上の警戒事項として、風下側での火山灰の降下にも注意が喚起された。

火山灰とは、火山噴火により放出される径2mm以下の固体物質として定義される。噴煙を高く噴き上げるマグマ噴火の場合であれば、マグマの噴出は火道(火口に至るマグマの通り道)内で、水や二酸化炭素などの揮発性成分の急激な膨張による爆発現象によって引き起こされる。このため、細かい火山灰には、ごく薄いガラス玉が砕けてできたような鋭利な破片が含まれることがある。

このような火山灰が空から降下してきたり、降り積もった火山灰が巻き上げられると、呼吸器や

眼球に悪影響を及ぼす。確かに、降灰による直接の生命の危機はないといわれる。しかしながら、降下火山灰は、このような健康だけでなく、家屋、交通、電気、通信、上下水道などに影響をもたらす。

それでは、どの程度の降下火山灰によって社会は強く影響を受けるのであろうか。ここではより影響の強い降雨がある場合について述べる。

図は、降雨があるときの降下火山灰の影響については、内閣府による富士山を例にした大規模噴火時の広域降灰対策に関わる検討結果を参考に簡略化して作成した。図には表現されていないが、降雨により碍子の絶縁低下により停電が発生すると、各所へ多大な影響が及ぶ。例えば、上水道へは、原水の水質悪化の影響だけでなく、停電により浄水施設や配水施設などが運転停止になることもありうる。

火山灰は、空から降下してくるとは言っても、雪とは違い、重量が大きい。乾燥した火山灰の密度は、0.4～0.7g/cm³であるが、湿ると1.2g/cm³を超えることがあり、堆積厚10cmの水を吸った火山灰は1㎡あたり100kgを超えるようになる。このため、建物にも大きな影響を及ぼす。たとえば、体育館の損壊のおそれがあれば、避難施設として使用が難しくなる。また、堆積厚30cm以上の火山灰の重みで、木造家屋の倒壊の可能性がある。米国地質調査所によると、フィリピンのピナツポ火山が1991年に噴火したときには、死者(840名以上)・負傷者の大半は、台風の影響もあり、湿

	火山灰の堆積厚				
項目	微量	0.3 cm～	3 cm～	10 cm～	30 cm～
鉄道	地上路線の運行停止				
道路			二輪駆動車の通行不能	四輪駆動車の通行不能	
	視界低下・スリップ				
電力		降雨による碍子の絶縁低下により停電			
上水道	原水の水質が悪化し、浄水施設の処理能力を超えることで、水道水が飲用不適または断水				
下水道	降雨時、下水管路の閉塞により、閉塞上流から雨水があふれる				
建物				長スパン建物（体育館等）の損壊	木造家屋の倒壊

った重い火山灰による屋根の崩落が原因であったということである。

このほか、火山灰は土砂であるので、農作物などへの影響も大きく、また、その他の地域を含めて、火山灰の処理には多大なコストがかかり、処分先の問題も発生する。さらには、堆積した火山灰による土石流の発生に留意する必要がある。

このように降下火山灰は様々な影響をもたらす。その影響を軽減するためには、事前の準備が必要であることは論を俟(ま)たない。その際には、降下火山灰は、それだけでは緊急性・直接的な生命の危険性は低いこと、噴火に伴う他の現象との関連性、噴火予測の不確実性などに留意する必要がある。

※いわて防災学教室のバックナンバーは、
岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。

ー 未来に繋がる最先端技術 ー

設計通りにバケット刃先をコントロール!過掘りしない安心施工を実現!

X-53x Auto

アームレバーを操作するだけで、バケットの刃先の高さが設計面と合うようにブームの角度を自動制御!



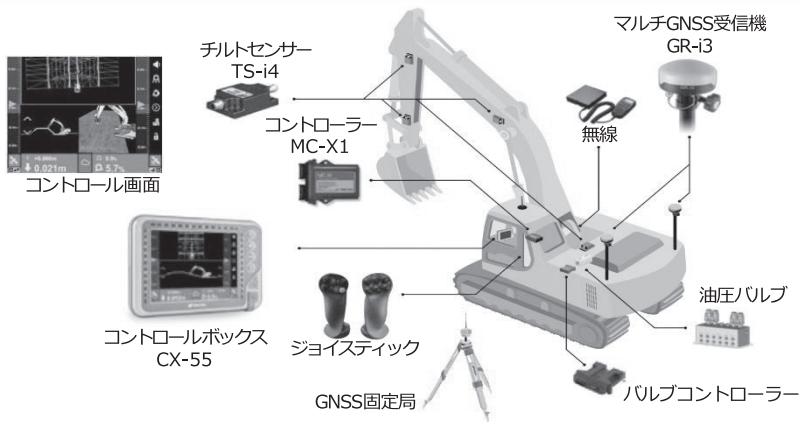
高さ自動制御機能を有効にし、更にバケット固定機能を有効にすると、アームレバーの操作だけで設計面に対してバケットの角度を固定!



法面の成型、面仕上げ等の作業時間を短縮するだけでなく、仕上げ精度も飛躍的に向上!

お使いの油圧ショベルに後付け可能!

- 刃先の高さやバケット角度を自動制御
- マルチGNSS 対応受信機と高精度センサー搭載
- 複雑な3次元形状の設計でも、丁張り無しで施工可能
- マシンガイダンスシステムからのアップグレードが可能



ー 現場3Dデータの作成サポート、測量機器・システムの販売からレンタル、メンテナンス校正までー

(株)トプコンソキア ポジショニングジャパン ビジネスパートナー店
J S I M A 認定店

株式会社 岩手測器社

お問合せは
コチラまで
お気軽に

TEL:019-613-2387
FAX:019-613-2386

http://www.iwatesokkisy.com/



〒020-0823 岩手県盛岡市門1丁目16-16

岩
測

I C T 研 修 セ ン タ ー

起工測量から出来形検査まで i-Construction による
施工作業を体験・習得できるトレーニング施設

ー スキル習得で時短&生産性UP! ー

◆ ICT活用への第一歩!人と現場を育てる学びの場

ICT研修センター活用により

- ・最先端機器の体験
- ・ICT建機の体験セミナー
- ・ドローンによる飛行訓練
- ・CPDS取得セミナー
- ・土地家屋調査士様向け勉強会
- ・社内向け勉強会
- …等々

様々な体験が可能です!



各社様の課題に沿ったプランを提案し研修会実施をサポート致します!

お困り事やご相談等、お気軽にお問合せください!

弊社ホームページにて

研修センター体験レポート

公開中!

◆ 重機・レーザースキャナー・ドローン等の体験も可能

◆ 新入社員の教育にも最適

◆ ICT研修センター内ハウスにて座学研修可能